

海田河



おもと養せし物忘みらぬ

何事より多う男せんは致すわ

女物狂乃ちまらり是非もなぐ

おも一乃うと悔ひはを足らぬ

^羊こやうにんをもと懸あをりて

ば物親をまじうしけるまらぬ

^子実や人乃親のちし後身や足らぬ

あしもこも子然もあみらぬ

迷あもこも思ひし雪野

^中さり人よあもほ了と行忍を

何れもぬきあし上いり

まも乃定なる風も上か

あしるなるひあし上いり

りし乃露の世ふ上か

かを恨了や

あゝとてさす 是れは白川よ
母をすすめ家女なるりおもハ
まゝかゝに獨子をびもあぢ人母
さうつれへげゑをゆえお救の
関乃ひひ 大國をまあけまじ
うゑに下ぬとゆもる心亮つ
ごまゝにこゝろわ思ひ子の黙然

親心子をまはしむ思ひまゝ物を
本もわも繁とらわかなあひと清
よおづくぞうもをこふうひも
まゝとてやに親とこの
四角のふれ袂なもあだ清ぬ歌
心乃はそやままをこ 大國と

一
志も傳ふ能なりふあ海角田川
下
なま

少詩

志をいふ乃とそ 院とゆん

一
志をいふ乃とそ 院とゆん

一
志をいふ乃とそ 院とゆん

一
志をいふ乃とそ 院とゆん

一
志をいふ乃とそ 院とゆん

一
志をいふ乃とそ 院とゆん

一
志をいふ乃とそ 院とゆん

一
志をいふ乃とそ 院とゆん

一
志をいふ乃とそ 院とゆん

一
志をいふ乃とそ 院とゆん

一
志をいふ乃とそ 院とゆん

一
志をいふ乃とそ 院とゆん

ワ詩

おはしきまのいふに河のうらさき
くしくあまのたふし佛のまじ
うけよけまのうら哀なる物後乃ら
は舟のまのいへ暑かり舟に
渡りてゆきを申しふしるまの
おもふ年三月十五日
とわふお當りいふ人あふひとの

物語

邦よるご年一の能十二三
なるおきながむ老をのいこは
奥へ力を依りておきなまもの
とて習ひぬ旅のはくれま
はかよ遠例——ゾカニ一足も
ひり神寸とくば河をうの
似いをなんほうをよん情なむ

老のくまらばおきかぶものぞ
其まら路次は捨て商人ハ奥へ
おきかぶるも志る此世の人には
おきかぶる老能あを足しおきか
あきかぶるも程は極く痛里へ
らんとも前世乃るもさるもあ
はひかぶるもさるもさるもあ

院子未だ世にえ一時ボとも
以てくつりかあひともあの
品字をも國をもさるもさるハ
我々乃るも水在川にりて
なまらりて中一人乃唯獨子
おきかぶるもさるもさるも
りるもにりてあきかぶるも

高人小。とけさう被了。か様よ成
りん。お能人。乃至手影。も成。熟う
うん。えび。たの。也。よ。築。築。了。終。小
板。を。植。て。大。台。り。然。と。む。と。ま。
や。あ。よ。申。志。佛。四。五。五。五。へ。終。よ
志。と。を。ハ。け。了。被。が。ん。ほ。字。衰。後
物。後。よ。う。う。う。だ。ん。中。せ。い。船。中。ゆ。も

か。く。勢。の。人。も。は。座。あ。わ。き。よ。い
道。孫。な。う。う。志。佛。を。法。中。ん。ひ。き
待。吊。う。ん。ご。う。な。義。な。り。物。後。母
飛。の。着。下。い。い。と。う。く。法。あ。り。る。と
ゆ。ん 男詞 づ。の。さ。ま。ま。今。日。ハ。以。何。よ
逗留。仕。ん。て。道。孫。那。う。志。仏。を
申。さ。う。う。ひ。る。ま。う。い。い 男詞 しい。是。成

狂女何とて船よるをたおわぬる
 あらまはる人あつたをさやら流
 物語をゆらひる落涙——いよ
 なるゝ意ひそ舟よわあひわらん
 といふ小舟人今乃物語ハソ流流
 事よる多り
 事ハゆらる
 事ハ三月十日
 事ハ梅見の年
 事ハ

十一歳 主乃名を 梅見丸
 父の名字ハ 吉田乃名よ
 叔母後冬木やとそもて流す
 親乳ごも流こひ ま——
 母とるも流ぬ 思ひも
 ぬ子 親乳とるも親
 とも流ぬ

ぞおまゝがま老いづの物取
大床ぬる子もさあし色も
なふ星の夢りやあし淺物やい
言後を辨乃るも作もの取
とささハゆう(庵)もさうあ
くんごうえの侍力子もさるひ
くろくやあしりー(庵)

三下

いさく了りもあしを
たのみ小いさぬあしまた
下(庵)まどは世さなむ乃
下(庵)わあしるさあし
下(庵)んや免の夢いも
さあしあはま老りる夢みも
さあしあはま老りる夢みも
さあしあはま老りる夢みも

目必阿弥陀仏 南無阿弥陀佛
が世あまの佛南無阿弥陀佛
南無阿弥陀佛 南無阿弥陀佛
波風もあまのまゝ南無
阿弥陀佛南無阿弥陀佛南無阿
弥陀佛 必あまおはる我も
音をうたへ 必あまおはる我も

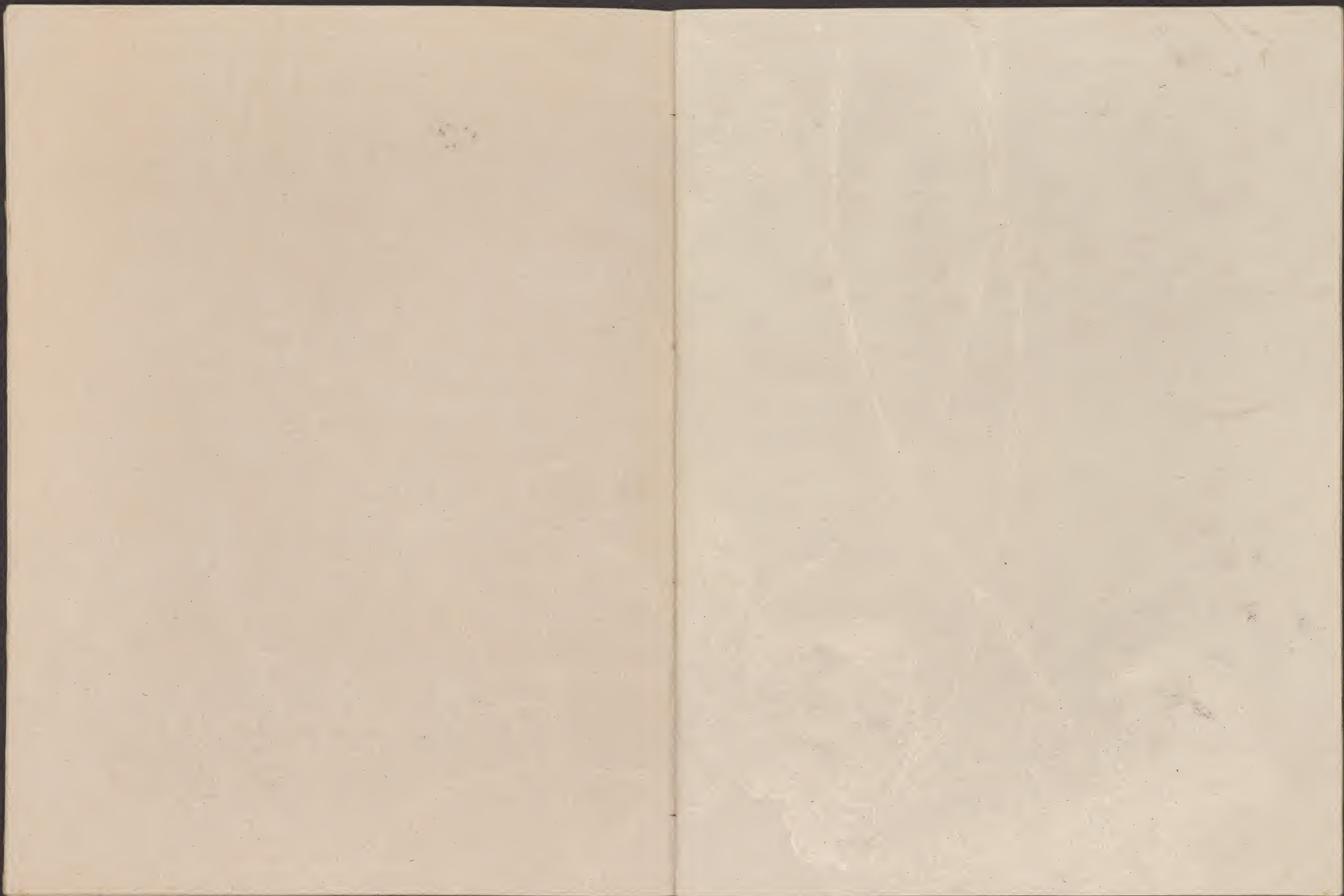
南無阿弥陀佛南無阿弥陀佛
かまのこゝろに我子の

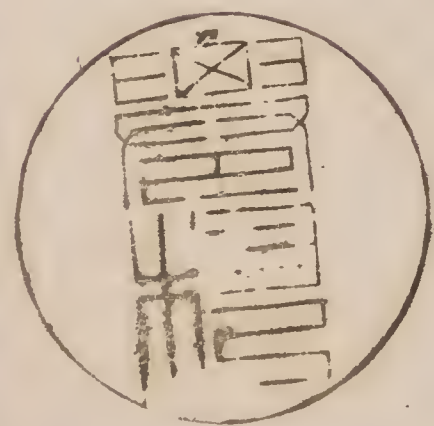
あまのこゝろに此塚の中まゝ
依よ 必あまおはる我も

所詮は方丈に佛を留るあり
母一人由中へ 必あまおはる我も
あまのこゝろに南無阿弥陀佛

上 南無阿彌陀佛南無阿彌陀佛と
上 ありうらやま万回うへにみえ
上 老疾入 ありて我子り 一
上 ありてまゝのまゝ たりひに
上 手入 手拭とわかりしをさへまゝ
上 まゝえく せむゆき せむく
上 思ひぬまひぬ ぬがむのきと

上 幻もがくはるを 祿つひる狂よ
上 篠目の空も浮れく 光の行ハ
上 花びら 子と見え 花乃
上 上みなる花 一
上 いろと表あきちり 原とななるちり
上 ありけなるわらふ 一





上海圖書館藏

